

鉢物用りんどう品種「ももこりん」

鉢物の消費は拡大傾向であり、今後とも生産拡大が期待できる分野である。本県では、これまでも鉢物用りんどうの振興に力を入れているが、鉢物用品種の長期出荷体系の充実や多様な商材の提供のため「いわて乙女」に続く新品種の開発が求められていた。

「ももこりん」は「いわて乙女」と異なり、花冠先端が転回する品種であり、長期間開花を続ける特性を有しているため新たな需要が期待できる。

表1 品種特性（平成7年）

品種	開花期(1) (月・半月)	開花順序	花冠の色(2)		花冠先端の転回
			内面上部	外面	
ももこりん (無摘心栽培1年株)	9.5	上から	明赤味紫 (8905)	浅紫 (8603)	外反転
いわて乙女	8.1	全体			やや外反転
福姫	(購入株のため不明)	上から			外反転

花数の多い位置	草丈 (cm)	茎の太さ(3)	茎の強さ	茎の色(4)	節間長(5)
下部	19	細	中	中	短
全体	40	中	強	中	短
上部	14	細	中	中	短

開花期は育成地の北上市付近で9月下旬～10月上旬であり、既存品種「いわて乙女」と異なり、花蕾が順次発達・開花するので、適温下で1ヶ月程度開花を続ける。

草丈は20cm程度で揃いがよい。

花色は紫がかった桃色であるが、花冠外面に赤紫色の縞模様がある。高温時には花冠先端が外反転する特性を有している。

注) (1) 開花期：全体の50%が開花した時期

(2) 花冠の色：日本園芸植物標準色票による

(3) 茎の太さ：草丈の1/2の位置

(4) 茎の色：上部節間の色

(5) 節間長：上部節間の長さ

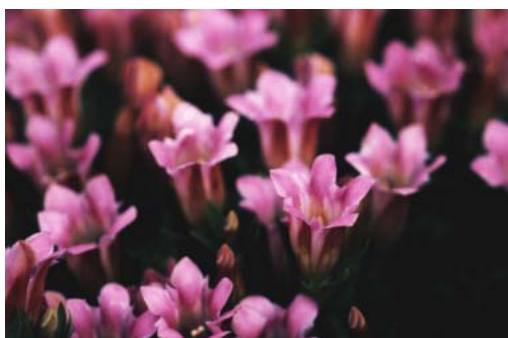


写真1 花冠の形状



写真2 株養成の状況